日刊建設新聞

The Nikkan Kensetsu Shimbun

6月26日 金曜日
平成27年 第12221号

発行所
日本建設新聞社
千葉市中央区新田町5−10
電話043−203−8171(代)
FAX043−203−6658(代)

業績を考える新機軸導入
東和道路株式会社
千葉市若葉区高品町1585-1
TEL 043-233-2221　FAX 043-233-1194
E-mail:towadouro@mtt.biebe.ne.jp
URL:http://www.towadouro.co.jp/

第一施工建設JV

新庁舎整備業務

初のECI方式で成功へ

白井市

既存市庁舎（復一ビル3）の老朽化や耐震性不足の解消を計画している白井市の庁舎建設事業で、施工予定者に決まった「第一施工建設JV」（東京都文京区）は、「ECI方式」を採用することで、発注者と協議しながら実施設計を進め、工期短縮や総額の圧縮を図れたとする。発注者は、「施工者の技術支援を受け、より良い庁舎を目指したい」としている。

業務は、庁舎の建て替えを含む「新庁舎整備業務」。敷地面積約3万㎡の中央公園内に、地上5階建て、延べ6000㎡の庁舎を建てる。総額は約40億6000万円（税抜）。工期は平成28年7月の完成で、SRC造地下1階地上5階建て、延べ6300㎡の庁舎を建てる。

ECI方式のメリットを生かすため、設計事務所のオオバと施工者を決定した段階で、設計段階から施工者が参画する形で、工程表や概算工事費の検討を進めた。当初の概算工事費は、約40億6000万円（税抜）を大幅に超えていたが、施工者からの提案などを反映させ、約36億6000万円（税抜）まで圧縮した。

工期については、当初、実施設計に1年、施工に1年半を見込んでいたが、実施設計と並行して施工者が工程を検討することで、実施設計を1年半、施工を1年に短縮することが可能になった。

発注者は、「施工者の技術支援を受け、より良い庁舎を目指したい」としている。

「新築十減築」の二一ハ千円余

「施工者提案」で総額圧縮

（株）ウノ・ハウス（白井市）

（株）ウノ・ハウスは、「施工者提案」で総額圧縮を図った白井市の新庁舎建設事業を受注した。「ECI方式」を採用することで、発注者と協議しながら実施設計を進め、工期短縮や総額の圧縮を図れたとする。発注者は、「施工者の技術支援を受け、より良い庁舎を目指したい」としている。

業務は、庁舎の建て替えを含む「新庁舎整備業務」。敷地面積約3万㎡の中央公園内に、地上5階建て、延べ6300㎡の庁舎を建てる。総額は約40億6000万円（税抜）。工期は平成28年7月の完成で、SRC造地下1階地上5階建て、延べ6300㎡の庁舎を建てる。

ECI方式のメリットを生かすため、設計事務所のオオバと施工者を決定した段階で、設計段階から施工者が参画する形で、工程表や概算工事費の検討を進めた。当初の概算工事費は、約40億6000万円（税抜）を大幅に超えていたが、施工者からの提案などを反映させ、約36億6000万円（税抜）まで圧縮した。発注者は、「施工者の技術支援を受け、より良い庁舎を目指したい」としている。

施工者は、「ECI方式」を採用することで、発注者と協議しながら実施設計を進め、工期短縮や総額の圧縮を図れたとする